

縄紋研究における炭素 14 年代測定の研究年表（小林）

年	種別	文献	著者・論文・特記事項
2012年 3月	論文	『国立歴史民俗博物館研究報告』第172集	小林謙一「縄紋時代堅穴住居跡埋没過程の研究」、遠部慎・宮田佳樹・小林謙一「東海地方における縄文時代草創期から早期の土器の炭素 14 年代測定」、工藤雄一郎「日本列島における土器出現期の較正年代について——IntCal04 と IntCal09 の違いおよび「13,000 年問題」——」、中村哲也「笹ノ沢（3）遺跡の集落規模」
2012年 3月	論文	『中央大学文学部紀要史学』第57号、中央大学	小林謙一「韓国新石器時代隆起文土器と日本縄紋時代早期～前期の年代——蔚山市細竹遺跡出土試料の炭素 14 年代測定——」
2012年 3月	その他	『特別史跡三内丸山遺跡年報』15	國木田大「個人研究 A 三内丸山遺跡の盛土の形成過程とその場所性の解明」
2012年 3月	その他	『中央史学』第35号	今村峯雄「公開講演 炭素 14 年代測定と歴史研究」
2012年 3月	その他	『名古屋大学加速器質量分析計業績報告書（XXIII）』	宮田佳樹「微量炭素年代測定法の開発とその応用——琵琶湖の淡水リザーバー効果の変遷と古環境復元への応用——」
2012年 3月	その他	『祭祀儀礼と景観の考古学』國學院大学伝統文化リサーチセンター	國木田大「東日本におけるトチノキ利用の変遷年代と環境変動」
2012年 3月	論文	『石川県考古学研究会々誌』第55号	向井裕知「チカモリ遺跡における縄文時代晩期の建物遺構とその年代」、木村勝彦・荒川隆史「縄文時代晩期における環状木柱列の木柱の考古学・年輪年代学的分析」、西本寛「環状木柱列の高精度年代測定と縄文時代晩期の編年」
2012年 3月	論文	『東北芸術工科大学東北文化研究センター研究紀要』11	安斎正人「縄紋時代早期論（中）」
2012年 5月	動向	『縄紋時代』23	小林謙一「2011年の縄文時代学界動向 関連科学 年代測定」
2012年 5月	研究発表	『日本考古学協会第78回総会研究発表要旨』	小林謙一・矢嶋良多・河本雅人「炭素 14 年代測定を利用した縄紋時代中期重複住居群の分析」
2012年 5月	論文	『南島考古』No. 31、沖縄考古学会	横尾昌樹「琉球列島における縄文時代早期から中期にかけての土器文化の展開」
2012年 6月	研究発表	『縄文時代中期の植物利用を探る 予稿集』長野県考古学会縄文中期部会	早坂広人「縄文時代前期～中期の年代と環境復元について」
2012年 6月	論文	『古代文化』第64巻第1号	宮地聡一郎「縄文時代後・晩期の遺跡群動態——交界灘沿岸部における黒色磨研土器期の検討——」

年	種別	文献	著者・論文・特記事項
2012年 6月	研究発表	『日本文化財科学会第29回 大会研究発表要旨集』	国木田大, 大貫静夫, IGOR・SHEVKOMUD, 山原敏朗, 吉田邦夫, 松崎浩之「アムール川 流域および北海道における初期新石器時代の 年代研究と食性分析」, 遠部慎「山陰地方に おける縄紋時代早期後半の年代学的研究」, 趙哲済「大阪市域の考古遺跡における地震現 象とその年代」, 村上由美子, メヒテル・ メルツ, 藤井裕之, 坂本稔, 遠藤利恵・中川 正人, 富井眞「縄文時代におけるコナラ節の 利用とその技術—北白川追分町遺跡出土大 木の検討から—」, 渥美晋「 <sup>14</sup> C年代測定法 における酸—アルカリ—酸処理法のNaOH 溶液の濃度と年代値との相関」, 国木田大・ 吉田邦夫「炭素・窒素同位体分析を用いたク ッキー炭化物の由来解明と年代測定」
2012年 6月	論文	China SCIENCE VOL 336	Xiaohong Wu, Chi Zhang, Paul Goldberg, David Cohen, Yan Pan, Trina Arpin, Ofer Bar-Yosef, Early Pottery at 20,000 Years Ago in Xianren- dong Cave
2012年 7月	研究発表	『公開シンポジウム予稿集 東北地方における中期／後 期変動期 4・3kaイベン トに関する考古学的現象 ①』東北芸術工科大学	国木田大「縄文時代中・後期の環境変動とト チノキ利用の変遷」
2012年 9月	その他	『考古学研究』第59巻第2 号	石井寛「集落址研究と時間尺度」
2012年 9月	その他	『考古学ジャーナル』No. 632, 年代測定の諸問題	吉田邦夫「 <sup>14</sup> C年代測定の現状と展望」, 尾 崎大真「日本列島の暦年較正曲線」, 国木田 大「遺跡における層序の年代決定」, 坂本稔 「 <sup>14</sup> C—ウイグルマッチ法による高精度年代 決定」, 吉田邦夫「 <sup>14</sup> C年代測定における海 産物の影響」
2012年 10月	研究発表	『三十稲場式土器文化の世界—4・3kaイベン トに関する考古学的現象②—』 津南シンポジウムⅧ	国木田大・阿部昭典・吉田邦夫・松崎浩之「三 十稲場式土器の年代と食性分析」
2012年 10月	その他	『佐久考古通信』No. 111 栃倉岩陰遺跡特集号	藤森英二「栃倉岩陰遺跡「下部」出土土器の AMS法による放射性炭素年代測定」, 小林謙 一「栃倉岩陰遺跡「下部」出土土器の炭素 14年代について」, 米田穰「栃倉岩陰遺跡か ら出土した縄文時代早期人骨および動物骨の 同位体分析」
2012年 11月	研究発表	『日本植生史学会第27回 大会』	工藤雄一郎「隆帯土器付着炭化物の分析と 晩水期の土器利用」
2012年 11月	研究発表	『第66回日本人類学会大会 プログラム・抄録集』	橋本真紀夫・吉田邦夫・覚張隆史・米田穰「上 黒岩岩陰出土大骨の研究 資料の年代と石灰 岩の岩石学的分析結果」

縄紋研究における炭素 14 年代測定の研究年表（小林）

年	種別	文献	著者・論文・特記事項
2012年 11月	書評	『季刊考古学』第121号	堤隆「(書評) 工藤雄一郎『旧石器・縄文時代の環境文化史 高精度放射性炭素年代測定と考古学』」
2012年 12月	論文	『国立歴史民俗博物館研究報告』第176集	小林謙一「日本先史・古代竪穴住居の構築材の年代測定による住居構築年の研究」
2012年 12月	その他	『Anthropological Science』 Vol. 120- No. 2	山崎真治・藤田祐樹・方桐千亜紀・國木田大・松浦秀治・諏訪元・大城逸郎「沖縄県南城市サキタリ洞遺跡の発掘調査(2009～2011年)——沖縄諸島における新たな更新世人類遺跡——」
2013年 3月	その他	『名古屋大学加速器質量分析計業績報告書(XXIV)』	一木絵里・松本優衣・辻誠一郎・中村俊夫「縄文時代の急激な環境変動期における生態系復元と人間の適応～八戸・上北地域におけるボーリングコアの <sup>14</sup> C年代測定～」, 森勇一・中村俊夫・本堂弘之・川崎志乃・奥義次「三重県粥見井尻, 筋違, 内垣外遺跡から得られた <sup>14</sup> C年代値とその意義」
2013年 3月	論文	『国立歴史民俗博物館研究報告』第178集	工藤雄一郎「土器出現の年代と古環境——研究史の整理から——」
2013年 3月	論文	『研究紀要』第18号, 青森県埋蔵文化財センター	小林謙一・茅野嘉雄「二股(2)遺跡出土試料の <sup>14</sup> C年代と安定同位体比測定による分析」
2013年 3月	論文	『紀要』史学第58号, 中央大学文学部	小林謙一「韓国青銅器時代集落の炭素14年代測定」
2013年 3月	論文	『研究紀要』第21号, (財)とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センター	小林謙一・坂本稔・片根義幸・合田恵美子「栃木県日光市仲内遺跡出土土器付着物の <sup>14</sup> C年代測定」
2013年 3月	論文	『北海道考古学』第49号	内田和典 2013「極東東・南部地域の中期新石器土器型式研究——アムール下流域マリシェボ文化を中心に——」
2013年 3月	論文	『東北芸術工科大学東北文化研究センター研究紀要』12	安斎正人「縄紋時代早期論(下)」
2013年 4月	研究発表	『公開シンポジウムIV 関東甲信越地方における中期/後期変動期——4.3ka イベントに関する考古学現象③——』	工藤雄一郎 2013「縄文時代中期から後期の環境史と土器の年代」
2013年 4月	論文	『第四紀研究』Vol. 52 No. 4	柴畑光博「鬼界アカホヤテフラ(K-Ah)の年代と九州縄文土器編年との対応関係」
2013年 4月	論文	NATURE496	O. E. Craig, H. Saul, A. Lucquin, Y. Nishida, K. Tache, L. Clarke, A. Thompson, D. T. Alftoft, J. Uchiyama, M. Ajimoto, K. Gibbs, S. Isaksson, C. P. Heron, P. Jordan, 2013, Earliest evidence for the use of pottery

年	種別	文献	著者・論文・特記事項
2013年 5月	動向	『縄文時代』24	小林謙一「2012年の縄文時代学界動向 関連科学 年代測定」, 小林謙一「書評 工藤雄一郎『旧石器・縄文時代の環境文化史 高精度放射性炭素年代測定と考古学』」
2013年 5月	論文	『山梨県考古学協会誌』22号	小林謙一「山梨県における縄文時代中期の年代測定研究」
2013年 6月	研究発表	『日本旧石器学会第11回講演・研究発表シンポジウム予稿集 旧跡時代の年代と広域編年対比』	工藤雄一郎(講演録) 旧石器時代の年代と広域編年対比
2013年 7月	研究発表	『日本文化財科学会第30回大会研究発表要旨集』	宮田佳樹・荒巻能史・南雅代・太田友子・遠部慎・坂本稔・今村峯雄・中村俊夫「琵琶湖の淡水リザーバー効果と年代測定への影響」, 宮田佳樹・堀内晶子・猪熊樹人・新美倫子「根室市関江谷1 堅穴群出土遺物の炭素年代測定: 見かけ上の炭素年代差とその意味」, 遠部慎・中沢道彦・金姓旭「縄文時代における炭化球根類の炭素14年代測定」, 林謙一・小澤政彦・坂本稔「炭素14年代による縄文時代後期初頭の広域編年」, 中塚武・佐野雅規・大石恭平・シュ チェンシ・岡部雅嵩・大西啓子・河村公隆・坂本稔・尾嵩大真・中尾七重・横山操・赤塚次郎・桶上昇・光谷拓実「過去2千年間の本州中部産の全木材を対象にした年輪酸素同位体比クロノロジーの確立」
2013年 7月	研究発表	『韓・日初期新石器文化比較研究 韓国新石器学会・九州縄文研究会第10回韓・日新石器時代共同学会大会』	工藤雄一郎「縄文時代のはじまりと環境変動」
2013年 8月	研究発表	『日本第四紀学会講演要旨集』43	中村俊夫・高田秀樹・金原正明・西本寛「能登半島富山湾岸に位置する真脇遺跡から出土した木柱群の <sup>14</sup> C年代編年」, 一木絵理・中村俊夫・小林謙一「千葉県飛ノ台貝塚出土資料の <sup>14</sup> C年代と海洋リザーバー効果」
2013年 9月	論文	RADIOCARBON, Vol 55, Nr 3	Dai Kunikita, Igor Shevkomud, Kunio Yoshida, Shizuo Onuki, Toshiro Yamahara, Hiroyuki Matsuzaki 2013 Dating Charred Remains on Pottery and Analyzing Food Habits in the Early Neolithic Period in Northeast Asia, Kunio Yoshida, Dai Kunikita, Yumiko Miyazaki, Yasutami Nishida, Toru Miyao, Hiroyuki Matsuzaki 2013 Dating and stable isotope analysis of charred residues on the incipient Jomon pottery (Japan)

縄紋研究における炭素 14 年代測定の研究年表（小林）

年	種別	文献	著者・論文・特記事項
2013年 9月	論文	『月刊地球 第四紀研究における年代測定法新展開：最近 10 年間の進展 (I) 放射性炭素年代』Vol. 35 No. 9, (株)海洋出版	奥野充・山田和芳・下岡剛直「巻頭言：総特集「第四紀研究における年代測定法新展開：最近 10 年間の進展」の趣旨と特集 (I)「放射性炭素年代」について」、北川浩之「放射性炭素年代測定—AMS 法を中心とした最近 10 年間の進展—」、今村峯雄「ウイグルマッパ方による高精度放射性炭素年代測定」、大森貴之「暦年較正とベイズ推定」、中村俊夫・増田公明・三宅美沙・箱崎真隆「日本産試料の暦年較正の問題点」、池原研・岡崎裕典「テフラを用いた海洋レザバー変動の復元」、國木田大「近年の考古学における $^{14}\text{C}$ 年代研究」、米田穰「人骨・動物骨の放射性炭素年代測定」、遠田晋次・小俣雅志・丸山正・早瀬亮介・群谷順英「断層活動年代推定における 1 問題点—木片類と土壌有機物の $^{14}\text{C}$ 年代値の系統的ギャップ—」、奥野充・中村俊夫・及川輝樹・苅谷愛彦「放射性炭素 ( $^{14}\text{C}$ ) 年代をどのように報告するか？」
2013年 11月	研究発表	『第 67 回日本人類学会大会記録集』	遠部慎・岡嶋隆司・小野伸・小野勢・楠原透・富岡直人・中島直樹・畑山智史・米田穰「瀬戸内海最古のアワビ」、日下宗一郎「津雲・吉胡貝塚から出土した縄文時代人骨の炭素同位体比による食性分析」、青野友哉、伊達元成、大鳥直行、中村賢太郎、百々幸雄、分部哲秋「弥生人と続縄文人の長距離交流の実態—年代的検討—」、大森貴之、米田穰「過去に報告された放射性炭素年代を用いた高精度年代推定」
2013年 11月	単行本		山本直人『縄文時代の生業と社会』同成社
2013年 11月	研究発表	『第 15 回 AMS シンポジウム報告集』	小林謙一「北海道帯広市内出土縄紋時代早期土器付着物の炭素 14 年代」
2013年 12月	論文	IntCal13	P J Reimer et al, IntCal13 and Marine13 Radiocarbon Age Calibration Curves 0–50,000 Years cal BP, Radiocarbon Vol 55, No 4
2014年 2月	論文	『特別史跡三内丸山遺跡年報』17	小林謙一「円筒土器文化における文様割付の研究」
2014年 2月	論文	『号外地球 第四紀研究における年代測定法新展開：最近 10 年間の進展 (III) 相対年代と古環境の高精度復元』63, (株)海洋出版	坂本稔「日本樹木年輪の炭素 14 年代測定」、中塚武・佐野雅規「酸素同位体比を用いた新しい木材年輪年代法」
2014年 2月	論文	『国立歴史民俗博物館研究報告』第 185 集	小林謙一「弥生移行期における土器使用状況からみた生業」
2014年 2月	論文	『植生史研究』第 22 巻第 2 号	能城修一・南木睦彦・鈴木三男・千種浩・丸山潔「大阪湾北岸の縄文時代早期および中～晩期の森林植生とイチイガシの出現時期」

年	種別	文献	著者・論文・特記事項
2014年 3月	論文	『紀要』史学第59号, 中央大学文学部	小林謙一「東アジアにおける土器出現期の年代研究の現状と課題」
2014年 3月	論文	『物質文化』94	遠部慎「出現期土器の年代測定値の評価」
2014年 3月	研究発表	第10回東海縄文研究会研究会 東海地方における縄紋時代早期前葉の諸問題 東海縄文研究会	遠部慎「東海地方における押型土器期の年代測定値集束」
2014年 3月	研究発表	『名古屋大学加速器質量分析計業績報告書 XXV』	一木絵理・中村俊夫「遺跡試料を用いた <sup>14</sup> C年代測定と海洋リザーバー効果の検討～福井県鳥浜貝塚出土試料を用いて～」, 星野フサ・荻原法子・中村俊夫「コウホネ属から読み解く縄文早期の環境変動—AMS <sup>14</sup> C年代測定と花粉分析による北海道中山峠第2湿原の環境解析—」, 箱崎真隆・中村俊夫・木村勝彦・中塚武「名古屋大学年代測定総合研究センターシンポジウム 北日本産樹木を用いた酸素同位体比標準年輪曲線の構築」
2014年 3月	論文	『飛ノ台史跡公園博物館紀要』第11号	一木絵理・中村俊夫・小林謙一「船橋市飛ノ台貝塚出土資料の <sup>14</sup> C年代測定と海洋リザーバー効果」
2014年 3月	論文	『研究紀要』第16号, 名古屋市見晴台考古資料館	畑山智市・遠部慎・伊藤正人「銚ノ木貝塚出土貝類の自然科学分析」
2014年 3月	論文	『長岡市立科学博物館研究報告』第49号	小熊博史・國木田大「岩野原遺跡後期集落出土のクッキー状炭化物の検討」
2014年 3月	論文	『研究連絡誌』75	工藤雄一郎「道免き谷津遺跡第3地点から出土した漆製品の <sup>14</sup> C年代測定」, 工藤雄一郎・一木絵理・能城修一・佐々木由香「雷下遺跡から出土した丸木舟と木胎漆器の <sup>14</sup> C年代測定」
2014年 4月	論文	『考古学ジャーナル』No. 654	吉田邦夫「炭化物の分析」
2014年 4月	単行本	工藤雄一郎・国立歴史民俗博物館編『歴博フォーラム ここまでわかった! 縄文人の植物利用』新泉社	鈴木三男「縄文人がウルシに出会ったのはいつ?」, 坂本稔「植物の年代をはかる」, 「縄文土器のおこげの正体は?」
2014年 5月	論文	『伊勢湾考古』23	遠部慎「南知多町における縄文時代前半期の年代測定」
2014年 5月	研究発表	『日本考古学協会第80回総会研究発表要旨』	遠部慎「中部地方を中心とした縄文時代草創期末から早期の炭素14年代測定」
2014年 5月	動向	『縄紋時代』25	小林謙一「2013年の縄文時代学界動向 関連科学 年代測定」

縄紋研究における炭素 14 年代測定の研究年表（小林）

年	種別	文献	著者・論文・特記事項
2014年 7月	研究発表	『日本文化財科学会第31回大会研究発表要旨集』	小林謙一「炭素 14 年代測定による先史古代堅穴住居の構築状況の研究」、宮田佳樹・荒巻能史・南雅代・太田友子・遠部慎・坂本稔・今村峯雄・中村俊夫「琵琶湖水の $^{14}\text{C}$ 濃度変動への Dead Carbon Source の寄与と炭素年代測定への影響」、庄田慎久・米田穰・那須浩郎・羅建柱・安承模「窒素・炭素安定同位体比から考える韓国出土炭化穀物の栽培環境」、宮田佳樹・堀内晶子・上条信彦「土器残存有機物を用いた縄文時代晩期亀ヶ岡文化圏、内陸性杉沢遺跡の食性復元」
2014年 7月	論文	『国立歴史民俗博物館研究報告 縄文時代の人と植物の関係史』第 187 集	工藤雄一郎「縄文時代草創期土器の煮炊きの内容物と植物利用 王子山遺跡および三角山 I 遺跡の事例から」、工藤雄一郎「縄文時代草創期土器の煮炊きの内容物と植物利用」、吉川昌伸・工藤雄一郎「下宅部遺跡の花粉と年代からみた縄文時代中期から晩期の植生史と植物利用」
2014年 8月	研究発表	『日本第四紀学会講演要旨集』44	一木絵理・松本優衣・辻誠一郎・杉山陽亮・村木淳・宇部則保・中村俊夫「八戸・上北地域における縄文海進期の古環境と人類活動」、宮入陽介・阿瀬貴博・横山祐典「放射性炭素年代測定における安定同位体比測定的重要性 (V)」
2014年 9月	論文	『宮崎考古』第 25 号	遠部慎「都城市星原遺跡の土器付着炭化物の炭素 14 年代—深浦式の年代測定—」
2014年 11月	研究発表	『日本植生史学会第 29 回大会』	木村勝彦・中塚武・小林謙一・角田徳幸「BC2300 年に達する年輪酸素同位体比物差しの構築と三瓶スギ埋没林の暦年代決定」
2015年 1月	研究発表	『平成 26 年度宮崎考古学会研究会資料集 貝殻文と押型文』	榎畑光博「貝殻円筒形土器群の $^{14}\text{C}$ 年代と較正暦年代」、遠部慎「南九州における押型文土器期の炭素 14 年代測定」
2015年 2月	論文	『植生史研究』第 23 巻第 2 号	工藤雄一郎・四柳嘉章。2015「石川県三引遺跡および福井県鳥浜貝塚出土の縄文時代漆塗櫛の年代」
2015年 3月	その他	『東北大学総合学術博物館紀要』No. 14	鹿又喜隆・村田弘之・梅川隆寛・洪恵媛・柳田俊雄・阿子島香・鈴木三男・井上巖・早瀬亮介・小原圭一 2015「九州地方における洞穴遺跡の研究—長崎県福井洞穴第三次発掘調査報告書—」
2015年 3月	論文	『鳥と港の歴史学』研究叢書 61 中央大学人文科学研究所	小林謙一「縄紋丸木舟研究の現状と課題—年代的位置づけを中心に—」
2015年 3月	論文	『ホモ・サピエンスと旧人 3—ヒトと文化の交替劇—』西秋良宏編	小林謙一「縄紋土器にみる新人の文化進化」